

# 6月定例会 一般質問



高橋 七重 議員

## Q 就学援助支援内容の充実を

ことし4月、文部科学省は就学援助制度の一部単

価を引き上げた。増額分は、今年度支給されるのか。

## A 見直しを行つた

▽教育課長

文部科学省の見直しに伴い、本村も見直しを行つた。今年度から新入学児童生徒学用品費を1万円増額した。新たに「卒業アルバム代等」も追加した。

## A 適正執行している

▽総務課長

(1) 指名委員会で選考した者に対し、指名通知を

- (1) 入札の流れを確認する。
- (2) 業者は、定められた期間に閲覧する。
- (3) 必要な書類等を確認し、期日までに郵送または入札日に参集する。

(2) 業者が失格、無効になるのはどのような場合

か。

- (3) これまでに失格となつた業者はあるのか。その場合の理由は。

- (4) 入札執行の責任者は誰か。村長は入札会場に同席するのか。

## A 安全航行を願う

▽住民課長

昨年の7月以来、東北防衛局によるオスプレイ飛行について、福島県から各市町村に情報発信されている。特に対策を講ずるべきものではない。安全航行を願うのみである。

## Q オスプレイ飛行実態に対する認識は

昨年10月に横田飛行場にオスプレイが配備されから7か月が経過した。本村の上空も、今年5月14日午後5時頃飛行した。オスプレイは事故が多く、非常に危険な輸送機である。

住民の命を守る立場から、このような状況をどのように考えるのか。

## 2人の議員が登壇しました

### 一般質問とは……

定例議会において、各議員が住民の代表として、行政全般にわたり村当局の考え方や疑問をただすことです。

また、議員にとって政策の見直しや政策を提言する重要な活動の場です。

# 一般質問



**A 再** ▽教育課長  
内容によつては、学校で一時的に立替をする等しており、学校事務をスムーズに行つたためにも、これまでどおり現金受領で行つことをご理解いただきたく。

**Q 再** 家庭の負担を軽減するため、現金受け取りではなく振込にはできないのか。

子供たちの将来が、生まれ育つた家庭環境によって左右されることのないよう引き続き支援していく。

発送する。入札に参加する者は定められた期間内で設計書等の閲覧を行う。入札日と入札場所を指定して執行しており、入札に参加する者または委任状を持参した代理人は指定された時間までに入札会場に入り、入札書により入札を行い、その場で開札して落札業者を決定する。

(2) 参加資格のない者の入札、本人以外の場合の委任状を持参しない代理人による入札、記名押印を欠く入札、金額を訂正した入札、入札書に書かれた内容が確認しがたいもの、鉛筆書きの入札、重要な事項が誤脱等により意思表示が不明瞭なため識別しがたい入札、定期までに参加していないこと、最低制限価格を下回った入札等。

(3) 過去3年間の内容として、入札書に金額が入つていなかつたもの、最低制限価格を下回つたものがある。

(4) 入札執行責任者は村長であり、特殊な事情を除き、入札会場に同席する。

**Q 再** 執行責任者は発言できるのか。また、発言により、入札の流れが覆されることやストップすることがあるのか。

**A 再** ▽総務課長  
発言はできる。入札の流れが覆されるようなことはない。



オスプレイ

**A 再** ▽村長  
オスプレイは日米安全保障条約に則り運行されているものと認識している。

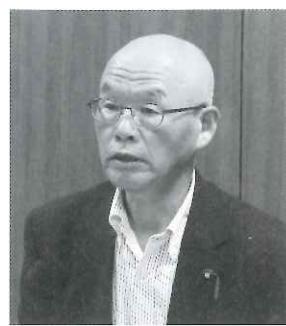
オスプレイに限らず、村民に危険を及ぼすような飛行物体に対して、安全対策の徹底をお願いしていくという姿勢を貫いていきたい。

**Q 再** 東北防衛局の情報は、府内でのように取り扱っているのか。

**Q 世界のあじさい園・ゆり園ことしの来場者対応は**

あじさいの最多品種数がギネス世界記録に公式認定された。村の新しい観光拠点として、さらなる観光客の増加が期待される。

- ① 来場者の熱中症対策は。
- ② 多目的休憩施設の進捗状況は。
- ③ カート増台の考え方と運転手の確保は。
- ④ 福島空港と台湾・東南アジア各国を結ぶチャーターバスによる観光客の呼び込みは。



久保木 源 議員

配布等を行っている。

**Q** 再 リピーターが増えるよう、安全対策を講じてほしい。

ジュピアランドは空港に近い。外国人観光客も増やしていくほしい。



世界のあじさい園

**A 万全の体制を整える**

▽産業課長

- ① 日傘の貸し出し・カートの利用等、水分補給と合わせて注意喚起する。
- ② 工期までに竣工する予定。6月22日の開園までに、備品等の搬入・設置が完了する。
- ③ 実行委員会の了解をいただきカートの増台を検討し、運転手の臨時の確保も考えている。
- ④ 4月から福島空港着のプログラムチャーターバスのウェルカム対応として、職員を派遣しチラシの



カートで園内を楽しむことができる



6月12日に完成した多目的休憩施設